

SNSと犯罪

鳥取県米子市立加茂中学校 3年 澤田 芭菜



多くの小中学生が「自分は事件の加害者にも被害者にもならないから大丈夫。まず、事件に関わることはない。」と他人事のように思ったことがあると思います。私自身も十四年間ずっとそう思って過ごしてきました。実際に事件に関わったことはありません。

しかし、一学期の非行防止教室をしてからは今までの考えがいきなり変わり他人事のようにとらえていたことが自分自身におこりうることもかもしれないととらえることになりました。

人は、何かちょっとした些細なことがきっかけで色鮮やかな世界が黒と白の世界になることがあるかもしれません。

特に近年では、新型コロナウイルスの影響で外出する時間が減り、家にいる時間が多くなり、スマホやタブレットを使ってSNSやネット、ゲームなどを利用する時間が増えてきて、事件に巻き込まれる確率が年々高くなってきています。

ネットやSNSは嘘の情報が多く、それに騙される人も少なくないと思います。ですが、その嘘をきちんと見破ることができれば、ネットやSNSはいろんな情報を得ることができるとても便利な情報網になります。

けれど、SNSやネットは情報だけではありません。音楽がきけたり、動画を見ることができます。音楽や動画、情報だけならまだ安全です。しかし、出会い系サイトとなると顔を見えないことをいいことになりすましをして、ネットを悪質に利用する人が少なくないです。ネットやSNSは安全とは言い難くなります。

なので、ネットやSNSなどを使うときは自分の個人情報をしっかり守り、言葉遣いに気を付け、ネットで知り合った顔を知らない相手とは直接会うことがないように家族と話し合っ規則を決め、それをしっかり守れば楽しく安全にネットを使用することができ、事件の加害者にも被害者にもならずすむと思います。

そして、家族と規則を決めるときに使用時間を決めれば、さらによくなると思います。

なぜなら、最近の中学生や高校生はスマホを見てばかりで他のことがおろそかになっていることが多く、私自身もそうなので自分の時間をもっと大切にすため、時間を決めてスマホやネットの依存を防ぐべきだと思います。

また、規則は子供だけでなく家族全員で取り組み守っていくことで長く続

き、コミュニケーション能力もつき、家の掃除や勉強、自分の将来についても深く考える時間ができるのではないかと考えました。

自分が加害者や被害者になるのはネットやSNSだけではありません。万引きや薬物乱用、窃盗罪、恐喝や未成年喫煙・飲酒などさまざまなことで事件に関わってしまうことになります。

犯罪を犯すか、犯さないかは自分や他人の将来を大きく左右します。自分は絶対被害者にも加害者にもならないから大丈夫。ではないです。そういう考えをしている人こそ危ないのではないかと思います。

誰が事件に巻き込まれてもおかしくないからこそ、自分の身や周りの人のことを考え、今一度、行動や言動を見直していくべきではないでしょうか。

最後に、私は子供は大人のことをよく見ていると思っています。大人がしているから少しくらいなら大丈夫。カッコいいからマネしたい。そう思っている人は少なくないです。

私は大人の人には、常に誰かに憧れられている存在であることを忘れないでほしいです。子供にとって大人はなくてはならない存在であり憧れでもあります。私にとっても大人は憧れです。カッコいいからマネしたいと思うこともたくさんあります。

だから、誰にマネされても見られても恥ずかしくない姿であってほしいです。私自身も誰かに憧れられる存在になりたいです。